



給食だより

令和7年4月30日
穴水共同調理場

長子配付

「目には青葉 山ほどとぎす 初がつお」。江戸時代に活躍した俳人、山口素堂の有名な句です。目で、耳で、そして舌で感じる初夏の喜びが表現されていますね。

さわやかな新緑の季節、五感を使ってこの季節ならではの美しさや素晴らしさを感じ、ますます豊かで健やかな学校生活を送りましょう。

こんな姿勢で食べていない?



からだよこむ
体を横に向ける



ひじをついて食べる



あしゆか
足を床につけない

まえむ
きちんと前を向く
こうかんど
好感度アップ!

ちや
茶わんやおわんを
手にもって食べる

つか
スプーンを使わずに
はしとわんで食べる
わいき
和食スタイルの基本だよ!

あしゆか
足を床につける

ちから
かむとき力が入りやすく
なるよ。骨盤も立つね!



せの
背すじを伸ばす

たもの
食べ物がすっと
からだなか
体の中を通って、
しうか
消化もよくなるよ!

からだ
つくえと体は
にぎりこぶし1こぶん
くらいはなす

うで
腕とひじがちょうど動き
はね
やすい幅になるね!

給食で味わう行事食～「端午の節句」～

たけのこ



てんづらぬ
天を貫くように真っ
まっ直ぐに伸び、成長も早
いことから、子どもたち
がすくすく元気に育
つようにと願いを込めて
食べられます。

かしわもち



い
あん入りのもちを柏の葉で包
はつ
んだものです。柏は新しい葉が
でるまで古い葉が落ちないこと
あとつたから、「跡継ぎが絶えない」として
えんぎもの縁起物とされました。